

097

contents

新収蔵品紹介
県美展予告
空調設備改修工事にとまなう休館のお知らせ
休館中の美術館活動紹介
年間スケジュール

天花
TENGE
天花



香月泰男(1911-1974) 「避難民」 1960年 油彩・カンヴァス 72.8×116.7cm 山口県立美術館蔵

新収蔵品

以下の作品が新しく当館収蔵品となりました。

香月泰男(1911-1974)	「避難民」	1960年	油彩・カンヴァス
香月泰男(1911-1974)	「寒林」	1966年	油彩・カンヴァス
小林和作(1888-1974)	「室戸岬」		油彩・カンヴァス
高島北海(1850-1931)	「花鳥」		絹本着色
松林桂月(1876-1963)	「長門峡」	1915年	絹本墨画淡彩
松林桂月(1876-1963)	「燕語春風図」	昭和初期	絹本墨画淡彩
殿敷 侃(1942-1992)	「線の集積」	1984年	紙・鉛筆
荒木経惟(1940-)	「農を撮る」	2001年	ゼラチン・シルヴァープリント
狩野芳崖(1828-1888)	「狩野芳崖資料」	明治時代	日本画顔料
三輪休和(1885-1981)	「萩瓶掛」	昭和初期	陶

表紙作品解説

香月泰男(1911-1974) 「避難民」 1960年

油彩・カンヴァス 72.8×116.7cm 山口県立美術館蔵
初出品先：第14回フォルム画廊定期個展（1960年4月）

「シベリア・シリーズ」は、香月泰男が第2次大戦中に自ら体験した従軍と敗戦後のシベリア抑留の記憶を57点の油彩画で描いた絵画連作です。香月芸術の代表作として戦後美術史上、高い評価を得てきた連作ですが、その連作中、この絵は《避難民》。敗戦直後に奉天（中国東北部、現瀋陽）近くで作者が目撃した日本人の避難民の群れを描いています。

周縁をとりかこむ地塗りは天蓋のない貨車のシート。避難民はその貨車のシートをもちあげて外を眺めています。右手でシートをつかみ、大きく広げた左手で口をおおっている人がいます。顔をみられて思わず顔を隠そうとする女性です。それほど事態は緊迫していたのでしょうか。彼女は頭巾のような被りものをしていいます。女性であることを隠すためです。よくみるとおなじ頭巾様の被りものをしていいる人が複数います。祈るように手を組む人もそう。このように時間をかけてみていくと、まるで霧の向こうから何かが見えてくるように絵の中の物語が具体性をおびて見えてくるはず。それは、見る人の感情を画面に移し入れることで、見る人のなかに物語を再現させているからなのです。そのための工夫として作者が10年余りをかけて見いだしたものの。それは、顔の中間表情、黒と黄土色などほとんど無彩色に近い色調、土のような画面の質感（絵はだ）といったものでした。

これらの特徴は1959年の作品においてあらわれ、シベリアスタイルとして定着しますが、「避難民」はシベリア連作に一貫するそうした造形的特徴を最も早く打ち出した一連の作品中の1点でした。

さて、当館では来年、平成18年の国民文化祭のプレ・イベントとして「シベリア・シリーズ全作品展」の開催を予定しています。お楽しみに。（副館長 安井雄一郎）



下関市立美術館外観

ワークシ

申込
おし
tel



春の話し会風景

6月
考に
61
まし
画を
のこ

★ホ
・下
・今
布そ

★作
県美
るた
から
自分
画を
ない
ま

空調設備改修工事にもなう 休館のお知らせ

■開館して四半世紀

山口県立美術館も開館して26年が経ち、展示室等の温度・湿度を一定に保つための空調設備の老朽化も進んで、展覧会を安全に開催することが危ぶまれるようになってきました。

全国の他の美術館を見回してみると、だいたい開館後20年程度で、空調設備の改修を行っているところが多いようです。

そこで山口県立美術館でも、今年6月から来年3月末までの10ヶ月間を休館とし、空調設備の全面的な改修工事を行うこととなりました。

■海外からの厳しい条件

最近、海外から作品を借用する場合、かなり厳しい温度・湿度の設定を求められるようになってきました。作品を展示する空間は、その設定された温・湿度を24時間一定に保たなければなりません。そうしたことが可能である施設かどうか、貸し出しについての必要かつ最低の条件となっているのです。空調設備が整っているかどうか、海外展を開催できるかどうかの最も基本的な分岐点であるといっても過言ではありません。

幸い、山口県立美術館では老朽化した設備の改修工事が今年度実現されることになり、今まで以上に効率よく安全に展示室等の温度・湿度をコントロールできるようになると私たちも期待しています。

■リニューアル・オープン

10ヶ月間休館することで皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、美術館の心臓部ともいえる設備の全面改修についてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

来年4月には、新しい装備をまとった県立美術館に皆様をお迎えできると思います。どうぞリニューアル・オープンにご期待下さい！

（学芸課長 斎藤郁夫）

下関市新市・中核市誕生記念

第59回 山口県美術展覧会

第9回やまぐち県民文化祭

今年の県美展は下関市立美術館で開催されます



下関市立美術館外観

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高める(つくる)と同時に、美術作品を鑑賞すること(みる)や美術文化を支えていくこと(ささえる)もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

つくる (公募部門)

自由な意識や現代社会に根ざした作品を募集し、その優秀なものを展示します。

みる (ワークショップ部門)

鑑賞行為の創造性を体験してもらうためのワークショップを開催します。

ささえる (ボランティア部門)

広く県民から募集した美術館ボランティア・スタッフに県美展の運営に参画してもらい、芸術支援の活動を展開してもらいます。

会場 下関市立美術館

〒752-0986 下関市長府黒門東1-1 tel:0832-45-4131

会期 平成17年9月22日(木) ▶ 10月12日(水)

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

- 休館日 9月26日・10月3日
- 観覧料 一般 250(200)円 大学生 200(150)円
 - ※()内は20人以上の団体料金
 - ※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、盲・ろう・聾学校在学の方等は無料です。
- 主催 山口県・山口県教育委員会・下関市・下関市教育委員会

県美展事務局

山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町3-1 tel:083-925-7788 fax:083-925-7790
e-mail:a50702@pref.yamaguchi.lg.jp
※要項、事前協議、審査会の傍聴、ワークショップ参加等について詳しくお知りになりたい方は、山口県立美術館内 県美展事務局までお問い合わせください。

※審査会傍聴、ワークショップ申し込みのために記入いただいた個人情報は、第59回山口県美術展覧会審査会傍聴、ワークショップに関する業務以外には使用しません。

作品搬入

搬入日時 平成17年9月9日(金)～9月11日(日)
午前9時30分～正午 午後1時～午後4時

受付場所 下関市立美術館

出品料 1点につき2000円

※出品規格などの詳細は、第59回山口県美術展覧会要項をご覧ください。

審査会

会場 下関市立美術館

日時 平成17年9月13日(火) 午前10時～午後5時
9月14日(水) 午前9時30分～正午

公開審査です。傍聴ご希望の方は9月4日(日)までに官製はがきに住所・氏名・電話番号を明記の上、県美展事務局(山口県立美術館)までお申し込みください(当日消印有効)。なおファックス、メールでも受け付けますので同様に住所・氏名・電話番号を明記の上お申し込みください。手続きなしの傍聴はできませんのでご注意ください。

審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。



昨年の審査会風景

審査員

榎本徹(えのもと・とる)

岐阜県現代陶芸美術館館長



岡部あおみ(おかべ・あおみ)

武蔵野美術大学教授 美術評論家



元永定正(もとなが・さだまさ)

現代美術作家 成安造形大学客員教授



ワークショップ

「アートはタイヘン!? どんどこアートで遊ぼう!」

手や足で泥をこねるあの感触を、すっかり忘れていませんか?
泥絵画や泥インスタレーションなど、泥をつかったいろいろな表現を親子で楽しみ、
作品を見る楽しさを体験しましょう。

日時 平成17年9月24日(土)午後1時~午後4時/9月25日(日)午後1時~午後4時
対象 子供(5才~小学校6年生)とその保護者
定員 各日とも 子供25人+保護者(先着順)
講師 原田文明(美術家・第59回山口県美術展覧会運営委員)
会場 下関市立美術館造形室

申込方法: 参加希望日・参加者の氏名・年齢・住所・電話番号を記入した往復はがき、またはe-mailでお申し込みください。
お問い合わせ・申し込み先: 〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1 山口県立美術館「県美展ワークショップ」係
tel: 083-925-7788 e-mail: a50702@pref.yamaguchi.lg.jp

運営委員

(50音順)

荒瀬 景敏	美術作家
今井 徹也	建築家
金津 洋雄	山口県教育委員会文化財保護課長
小南 英昭	山口県立大学生生活科学部助教
濱本 聡	下関市立美術館館長補佐
原田 文明	美術作家
堀家 敬嗣	山口大学教育学部助教
三輪 和彦	美術作家
森川 紘一郎	周南市美術博物館長
横山 眞佐子	児童書専門店「(株)子供の広場」代表取締役
吉野 道久	山口県環境生活部文化振興課長

速報

ポスター原画決定!

6月18日(土)、美術館ボランティア三期生が、県美展ポスター原画の選考に挑みました。

61点というたくさんの応募作品はどれも魅力的で1点を選ぶのに難航しましたが、山口市在住の大学生、郷健太郎さんの作品に決まりました。原画をもとに県美展のポスター、チケット、看板などを制作します。たくさんのご応募、ありがとうございました。

★ボランティアの選考理由

- ・下から上へと無限に伸びていく可能性を感じさせる
- ・今はただの紐を束ねた状態だが、将来、もっと太い縄になる/織られて布になる/そのままどんどん伸びていく/という可能性が感じられる。その印象が県美展の「つくる・みる・ささえる」の発展と結びつく点

★作者のコメント

県美展の趣旨が、「つくる・みる・ささえる」ということで、ただモノをつくるだけでなく、モノを見ることを通して周囲の様々な要素と関わり合いながら枝分かれし、支え合う、そんな動きをイメージして表現しました。今回、自分の原画が選ばれたことを非常に嬉しく思います。初めてポスターの原画を制作し多くを学び、また、モノをつくるということが決まっていた一方ではないということを変えて考える良い機会にもなりました。ありがとうございました。



ポスター原画に選ばれた作品



作品について語る郷さん

休館中の美術館活動紹介

●作品貸出

美術館は、時々、他の美術館や文化機関等から「こんな展覧会をした
いから、おたくにある作品を貸して」などと頼まれます。休館中の当館
も例外ではありません。すでに洋画や日本画など数件の貸出依頼があり、
検討のうえ承諾しています。建物休館でも、作品にはお休みなしとい
うことですね。(知持あすぞ)

当館所蔵品が出品される展覧会

重要文化財 雪舟筆「牧牛図」 2点	香月泰男「シベリア・シリーズ」 57点のうち36点・他1点のあわ せて37点 →「香月泰男展」 (広島・ひろしま美術館)7/23~8/21
重要文化財 雪舟筆「山水小巻」1点 →「明代絵画と雪舟」 (東京・根津美術館)7/2~8/14	

*展覧会の詳細は各館へお問い合わせください。

●ボランティア

4月に募集した三期生が養成講座を受講中です。6月18日(土)は県美展
ポスター原画公募の作品選考をしました。来年度からボランティアの活
動に参加できるよう、1年近くかけて研修を重ねていきます。



たくさんの応募作品を前に、選考は行われました

ピカソ展、興福寺国宝展での
「ピカソ恋人占い」「子供のため
のギャラリーツアー」、常設展
示の解説などが好評だった一
二期生も毎週集まって来年の活
動に向けて準備をしています。
美術館リニューアル後の活動を
お楽しみに。(前田淳子)

●学校・教員向け講座

当館では昨年度から学校との連
携に力を入れており、児童
生徒や教員向けの新しいプロ
グラムを次々と提案していま
す。

なかでも大好評の教員向け講座。
今年度は県内4館でそれぞれ力
の入った特別展をテーマに開講し
ます。広い山口県の東西南北で意欲
的な美術鑑賞ののろしが上がりま
す。(杉野愛)



興福寺国宝展「建康と仏像入門」
この後、会場でドラマチックな鎌倉時刻に酔いしれました

講座会場となる美術館と展覧会

山口県立美術館「興福寺国宝展」 ※終了しました
山口県立萩美術館・浦上記念館
「東アジア中世海道—海商・港・沈没船」9/17~11/27
周南市美術博物館「開館10周年記念 現代美術のABC」11/26~1/15
下関市立美術館「美術探検隊! 近代絵画の巨匠たち
~野野芳彦、岸田劉生、藤田嗣治、香月泰男ほか~」1/4~3/5

*講座の詳細は当館へお問い合わせください。

2005-2006

特別展

Schedule

山口県立美術館 平成17年度年間スケジュール

常設展

4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

4/12~5/22

興福寺国宝展

鎌倉復興期の寺社と財

5/23~2006/3

休館

(空調設備改修工事のため)

9/22~10/12

第9回やまぐち県民文化祭

第59回山口県美術展覧会

会場:下関市立美術館

追悼 松田正平 萩の茶陶 植木茂

4/10

4/12

興福寺国宝展特別展示

「萩の茶陶」

「秘仏公開

—山陽小野田市 岩崎寺・正法寺の仏像—

5/22

5/23~2006/3

休館

(空調設備改修工事のため)

Information

■当館は空調設備改修工事のため、
2006年3月末日まで休館中です。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art
〒753-0089
山口市壺山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7790
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi>

